

水道料金改定案の概要(補足資料)

令和8年9月

京丹後市上下水道部



1. 水道料金改定に至る背景

水道事業を取り巻く厳しい経営環境

- 急激な人口減少に伴う料金収入の減少
- 施設等の老朽化に伴う更新需要の増大
- 物価上昇等に伴う維持管理費の増加

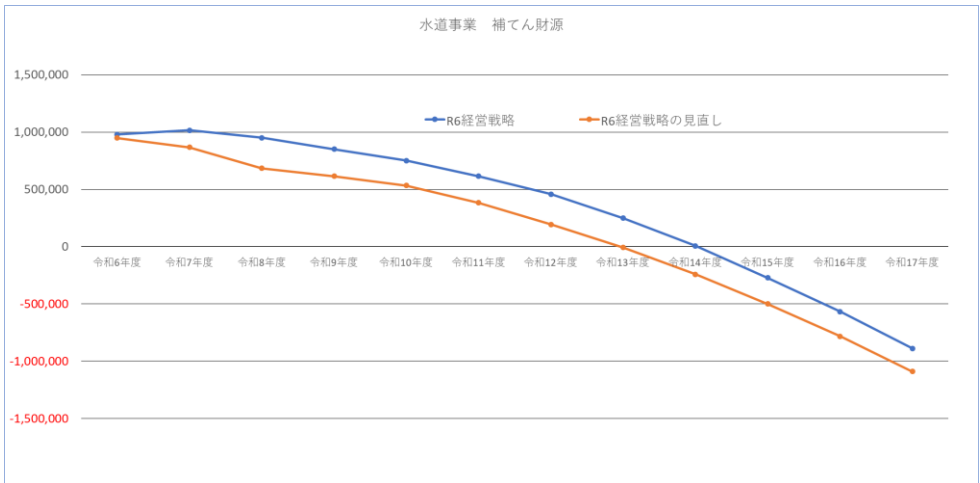


こうした状況を踏まえ、令和6年度に策定した「京丹後市水道事業経営戦略」を基礎として、直近の物価、金利、人口動向(有収水量)等を反映した財政シミュレーションの見直しを行ったところ、補てん財源の不足が早期化する見込みとなった。



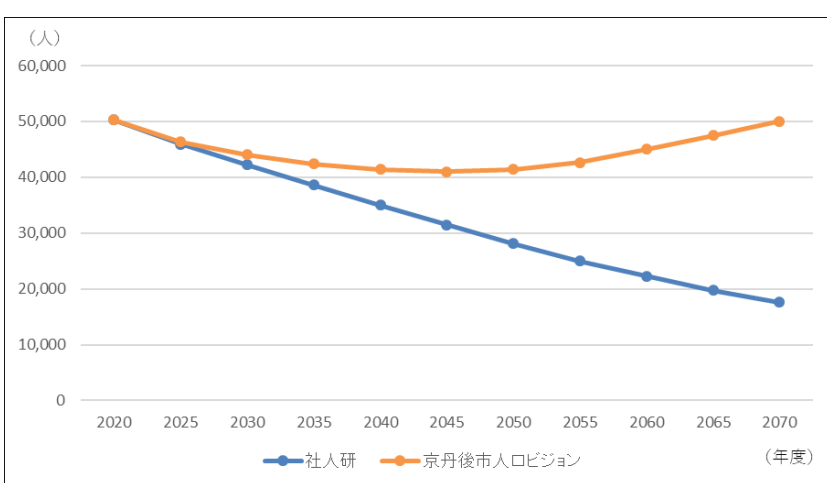
現状の料金収入のままでは、更なる財政状況の悪化が見込まれ、将来にわたる安心・安全かつ安定的な水道水の供給に支障をきたすおそれがある。

水道事業の財政シミュレーション（補てん財源）



※単位：千円

給水人口の予測



参考：水道事業経営戦略

1. 水道料金改定に至る背景

財政シミュレーションの比較（策定時・今回）

○ 直近（令和7年度）の決算・（令和8年度）予算、有収水量、建設費、維持管理費、金利上昇等を反映

○ 比較した結果、特に乖離差があった内容（主な理由）

- 金利の上昇

（策定時）1. 4% → （見込み）2. 0%に増

- 職員人件費の上昇

令和8年度からの地域手当の支給割合の増、水道・下水道の事業内容を踏まえた職員数

- 業務委託料の上昇

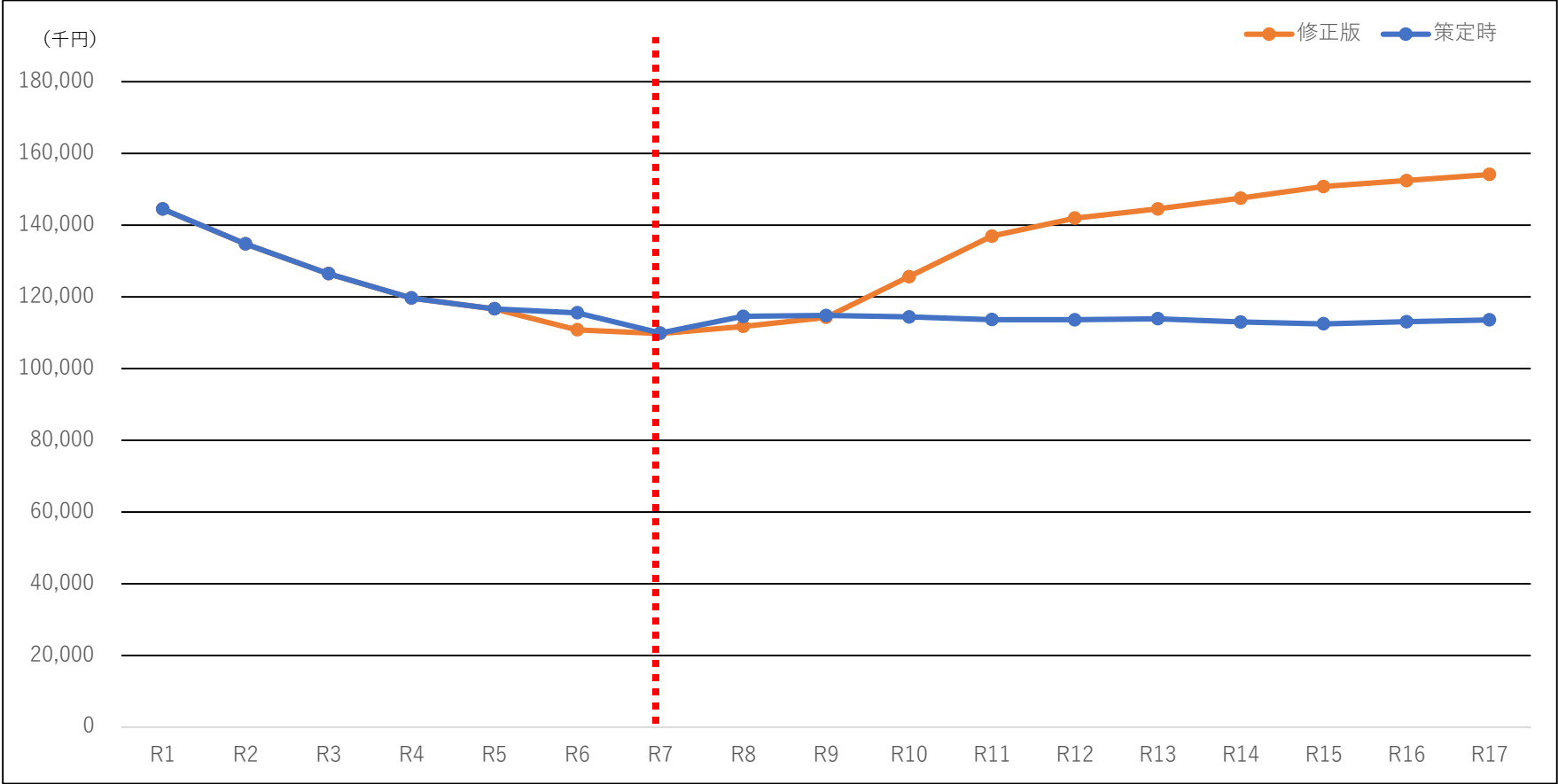
浄水場等維持管理業務（約15%の増）、料金等収納業務（約10%の増）※R6とR8の比較



補てん財源の不足の時期が、従来の想定より早まる結果となった。

1. 水道料金改定に至る背景

○ 支払利息

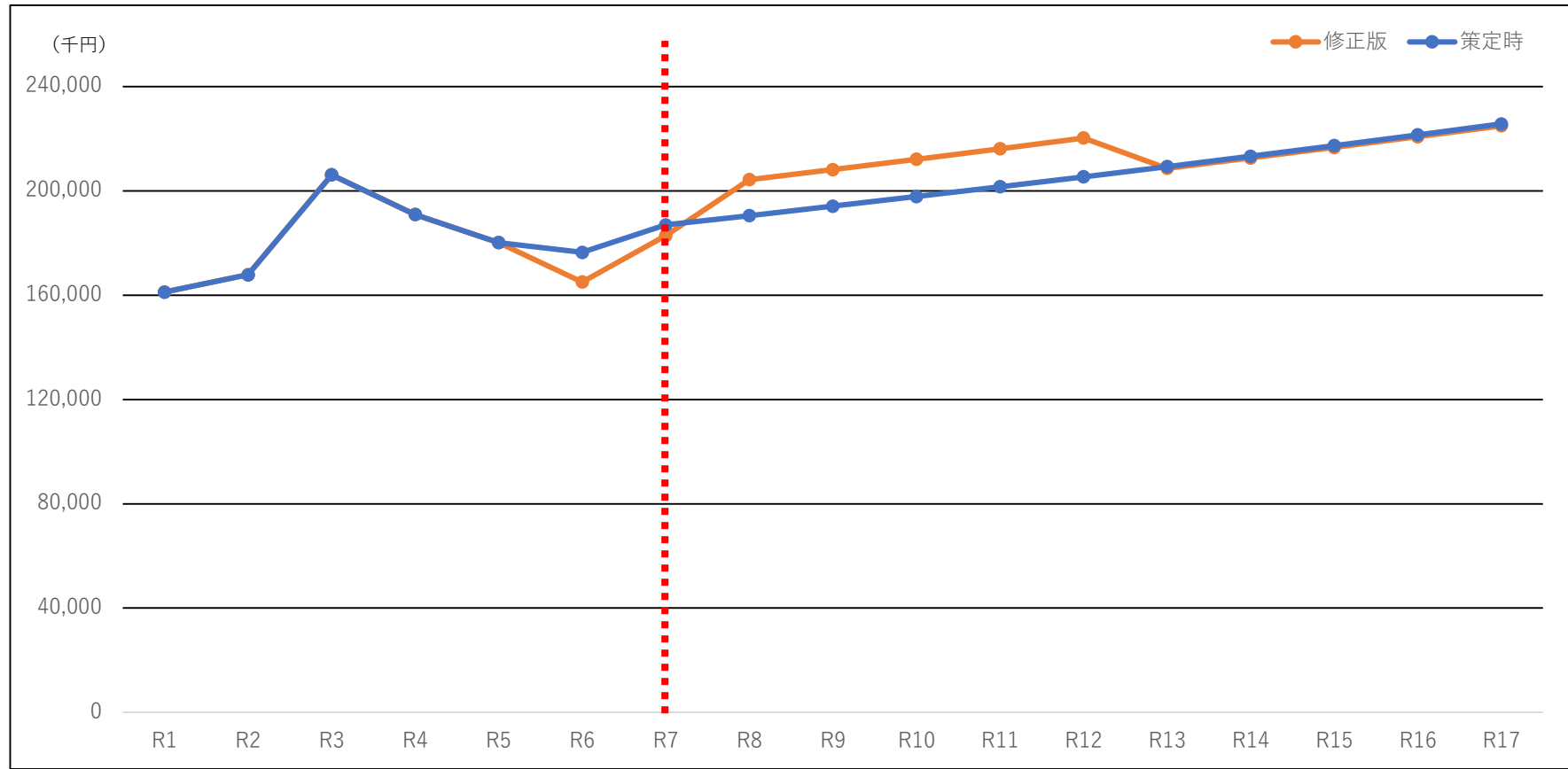


年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
支払利息	144,469	134,758	126,456	119,638	116,640	110,812	109,774	111,723	114,283
年度	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
支払利息	125,613	136,920	141,947	144,528	147,524	150,756	152,428	154,113	

資料：経営総務課（修正後財政シミュレーション） 単位：千円（非課税）

1. 財政シミュレーションの主な項目比較(策定時・今回)

○ 人件費

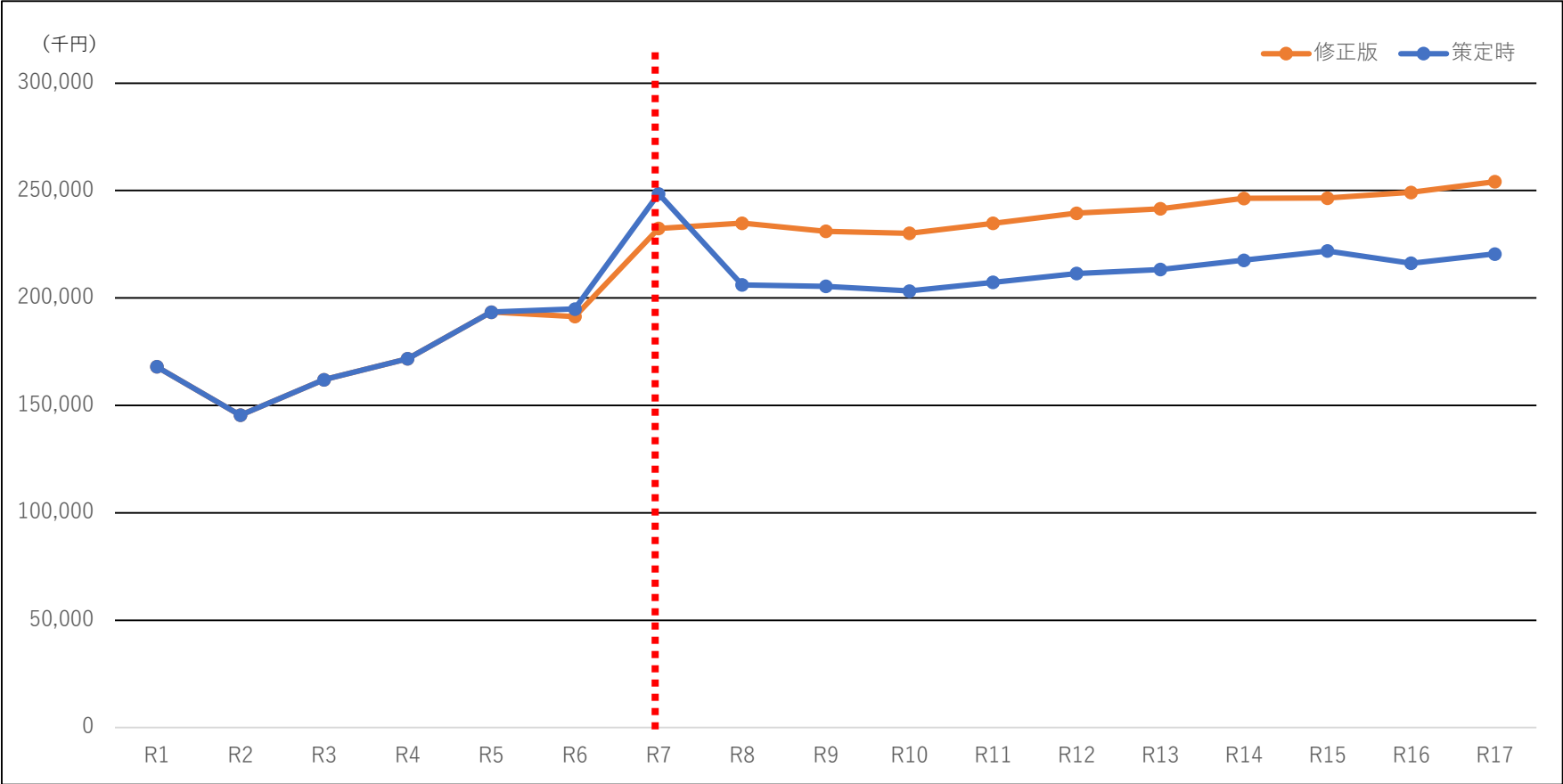


年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
人件費	161,236	167,866	206,163	190,937	180,211	165,079	182,856	204,330	208,212
年度	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
人件費	212,167	216,199	220,307	208,668	212,663	216,672	220,789	224,984	

資料：経営総務課（修正後財政シミュレーション） 単位：千円（税抜き）

1. 財政シミュレーションの主な項目比較(策定時・今回)

○ 業務委託料



年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
業務委託料	168,021	145,433	161,992	171,760	193,416	191,351	232,373	234,818	231,076
年度	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
業務委託料	230,154	234,756	239,452	241,561	246,392	246,480	249,160	254,143	

資料：経営総務課（修正後財政シミュレーション） 単位：千円（税抜き）

2. これまでの経営改善等の取組(主な経常経費削減の取組)

- 上下水道お客様センターの開設（平成23年度から）
 - 正職員1人減
- 隔月検針の実施（平成28年度から）
 - 約800万円／年の削減効果
- 簡易水道事業の上水道事業への統合（令和元年度から）
 - 基準内繰入の増（高料金対策分） 約4億2,300万円／10年
- 下水道事業との組織統合（令和元年度から）
 - 正職員1人減
- 企業債借入方法の変更（令和5年度から・変動金利採用）
 - 約2,000万円／年の削減効果 ※R5～R7の借入総額（約17億7,000万円）に対する5年間の効果
- 施設規模の適正化等
 - 中央監視装置関係 約600万円／年
 - 近年統廃合（生野内、磯等） 約500万円／年
- 中野浄水場の更新整備（現在、配水池の整備を実施中）
 - （再掲）生野内浄水場廃止、（今後）菅・郷浄水場等廃止

3. 今後の経営改善等の取組(主な経常経費削減の取組)

- 広域化の取組検討【検討中】
 - 北部圏域（綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町及び京都府）において、広域連携の可能性を検討中
- 水の官民連携（管理・更新を一体的に行う官民連携方式）【検討中】
 - 令和8年度は、北部圏域合同で導入可能性調査業務を実施中
- アセットマネジメント計画に基づく施設の統廃合【実施中】
 - 岡田浄水場系の再編整備（岡田・松ヶ崎・俵野） 約350万円／年の削減効果を見込む。
- 隔月請求の開始（令和9年4月開始）【実施中】
 - 約700万円／年の削減効果を見込む。 ※上下水道合わせて約900万円～1,000万円／年の削減効果を見込む。
- 衛星技術を活用した漏水調査に基づく対応【実施中】
 - 令和7年度（丹後町、弥栄町で二次調査を実施）
有収率1%の改善で、約1,200万円／年の削減効果を見込む。
- デジタル化の推進【実施中・検討中】
 - 各種申請のオンライン申請の導入
現在、開閉栓手続のオンライン申請に向けた作業を実施中